


クラス	総合演習 103	担当教員	吉田直美
	テーマ	人との関わりを通してニーズに気づき、理解し、そして動こう	
	著書・論文 研究課題等	『必携 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目編 2014』(共著) 「災害時要援護者と福祉避難所の一考察」日本福祉大学経済論集 第47・48 合併号 2014 年 3 月 対人援助、コミュニケーションのあり方、介護職の人材育成、 防災問題、電話相談	

ゼミナール概要

【キーワード】コミュニケーション 気づき 人と関わる力 共生 地域

【目的、目標、内容、方法など】

◆目的

私たちは誰も、異なる背景をもった人＝他者と関わりあって生活を営んでいかななくてはならない。そして、そのために最も必要とされているのは、「他者と関わる力」である。他者との関わりを通じて、他者と、そして地域と「共生」することに向き合い、地域の一員として、暮らしやすい社会の実現に向けて自分が果たすべき役割について考えていく。

◆目標

1. 「聴く」「話す」「読む」「書く」といった、基本的なコミュニケーション能力を身につける。
2. 他者と関わり、地域と関わることで、地域や社会の仕組みを学び、自分の関心事を明確にし、自発的に行動できる。

◆授業内容・方法

1. 1分間スピーチorレクチャー等の表現のトレーニングを通して、伝える力をつける。
2. 基礎知識を身につけるため、指定文献・資料を輪読する。(レジメ作成)
3. 福祉開発に必要となる対人援助の基礎である相手のニーズを的確に把握する力を、知多半島のフィールドワーク(まち歩き、市民活動団体の見学、インタビュー等)を通して学ぶ。

その他：大学は、知識を教えられ、指示されたことを受け身で学ぶ場だけではない。自分の興味関心あるテーマを探し、それに能動的に働きかけながら、学んでいく場にしてほしい。そして、担当教員は、学生の学びについての側面的支援の役割を果たすものと認識している。

担当教員からのメッセージ

当ゼミをエントリーにあたっての注意事項

- ①キャンパスから出たの活動や、グループ作業がたまに入る。ゼミの時間しか参加・出席できない！という忙しい方、外に出ている人々に関わりたくない人は、遠慮願いたい。
- ②無断欠席や、自分の担当課題をスルーする人は遠慮願いたい。人として最低限のコミュニケーションとる努力ができないと、信頼関係築けない。
- ③他者を決して排斥せず、自分も他者も活かし、活かされる関わりを心がけられる人大歓迎する。

.....

*エントリー希望者は、必ず事前に mail でアポイントをとり、「何を学びたいか」or「自分の関心事」を考えた上で、事前面談を受けること。

E-mail: naomi@n-fukushi.ac.jp